

医療機関、研究機関その他の放射性同位元素等取扱施設等における 消防活動上の留意事項に関する検討会（第1回） 議事概要

1 日時 平成27年7月15日(水)14:00～16:00

2 場所 中央合同庁舎7号館 1414会議室

3 出席者（敬称略・順不同）

鹿志村 平	立石 信行	鶴田 俊	富永 隆子
中村 篤志	中村 力	中丸 浩昭	平本 隆司
松井 真	武藤 重男	山口 芳裕	吉井 功知

4 概要

委員の互選により、鶴田委員が座長に、山口委員が座長代理に指名された。
事務局より検討会の開催趣旨、進め方及びスケジュール等の説明を行った。

【主な検討内容】

- 放射化については、事故事例の調査というよりも、放射線発生装置の周囲でどれくらいの放射化が起きるものなのかを調査・整理する必要がある。
- 個票には、大まかな危険度が分かる値も載せた方がよい。
- 密封線源が耐火性能や耐衝撃性能を越える事故に巻き込まれる可能性はある。
- 本検討会で資料を作成しても、消防機関が管内のRI施設情報を把握していなければ意味がない。管内にRI施設がどこにどれだけあるか等、RI施設の情報を消防機関が確実かつ迅速に把握できる仕組みが望まれる。
- 各個票のうち、放射性物質の性質の欄に掲載する項目については整合性を図る必要がある。
- 今回の調査では、既に公表されているデータ等のみを対象とすることとし、個別施設の情報などセキュリティに係る情報は調査の対象としない。
- 現場で活動する消防職員が使用するための資料であるため、消防本部の意見も踏まえて作成する必要がある。